

2023 年度聖学院大学大学院

春期入学試験問題

[文化総合学研究科]  
博士後期課程

英 語 ( 6 0 分 )

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具・辞書のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

以下の英文を読んで、設問に答えなさい。

# 著作権の都合により非公開

Saville-Troike, M. & Barto, K. (2017). *Introducing Second Language Acquisition*.  
Cambridge University Press.

1. 下線部の英文 (A), (B), (C), (D)を日本語に訳しなさい。
2. アメリカへの移民はなぜ英語を第二言語として習得することが求められるのか、その理由を日本語で答えなさい。
3. イスラエルでは、なぜヘブル語の公的使用が推奨されるのか、その理由を日本語で答えなさい。

聖学院大学大学院 文化総合学研究科博士後期課程  
入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2023 春期 (22 年度実施)	DCEN-016	文化総合学研究科博士後期課程 英語科目

・入試問題解答例

【設問】

別紙試験問題「DCEN-016」参照

【解答】（選択式・記述式）

1.

- (A) 英語は一般に唯一の国家語として受け入れられており、大半の人々は、全市民が一つの言語を使用できることが国家の結束にとって重要であると考えている。
- (B) 英語以外の先住民族の言語や移民の言語を維持することは、広く奨励されることはなく、積極的に阻止されることもしばしばある。
- (C) 英語以外の言語を話すことは、幾分、非愛国的であり「アメリカ人らしくない」とみなされる場合がある。
- (D) 政治的同一化（アイデンティティ）と結束のための言語の象徴的機能は、国造りの過程にある国々にとって、いっそう重要である。

2.

アメリカにおいて移民が英語を習得すべきとされる理由は、実用的側面と象徴的側面の二点に大別される。まず実用的には、英語が市民権取得の要件であり、民主的なプロセスへの参加、経済的流動性の確保や教育や社会サービスを楽しむために不可欠な言語とされているからである。次に象徴的な側面として、アメリカでは英語が唯一の国家語として広く受け入れられており、全市民が共通の言語を使用することが国家の結束（ナショナル・ユニティ）を維持する上で重要だと考えられていることが挙げられる。そのため、英語以外の言語の使用は不平愛国的で「アメリカ人らしくない」と否定的に捉えられる傾向にあり、国家の結束を象徴する手段として英語の習得が強く求められている。

3.

イスラエルにおいてヘブル語の公的使用が推奨される理由は、国造りの過程にある国家にとって、言語が持つ「政治的アイデンティティ」と「結束」という象徴的機能が極めて

重要だからである。イスラエルの建国に際して、ヘブル語の公的使用を確立することは国家創設の象徴として位置づけられており、そのため、もともとヘブル語を母語とする市民が少なかったにもかかわらず、すべての移民に対してヘブル語を第二言語として教育する多大な努力が払われた。また、民族的な一体化や宗教的機能においてヘブル語と競合する可能性のあるイディッシュ語などの他言語の使用を社会的に制限することで、ヘブル語による国家の象徴的統合を図ったためである。